

2012 年 IEEE 東京支部 総会資料

2012 年 3 月 13 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2012年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2012年3月13日（火） 14時30分～15時00分

場 所： 機械振興会館 B2階 ホール
東京都港区芝公園 3-5-8

議 題：

第1号議案：2011年活動報告【以下、報告事項】

第2号議案：2011年決算報告

第3号議案：2012年活動計画

第4号議案：2012年予算

講 演 会

日 時： 2012年3月13日（火） 15時10分～16時10分

場 所： 同 上

講演者： 井上 博允 氏

（東京大学名誉教授，
産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター顧問）
（2011年 IEEE Robotics and Automation Award 受賞者）

演 題： 「A Lifelong Challenge in Intelligent Robotics」

新Fellow表彰式

日 時： 2012年3月13日（火） 16時20分～17時00分

場 所： 同 上

懇 親 会

日 時： 2012年3月13日（火） 17時00分～19時00分

場 所： 機械振興会館 B3階 ニュー・トーキョー

2011-2012 年IEEE東京支部役員・理事

1. 役員

Chair	支部長	青山 友紀	(慶應義塾大学)
Vice Chair	副支部長	雁部 洋久	(富士通研究所)
Secretary	セクレタリ	有本 由弘	(富士通研究所)
Treasurer	トレジャラ	河野 隆二	(横浜国立大学)

2. 理事会メンバー

青山 友紀	(慶應義塾大学)	高村 誠之	(NTT)
雁部 洋久	(富士通研究所)	伊丹 誠	(東京理科大学)
有本 由弘	(富士通研究所)	葉原 耕平	(ATR)
河野 隆二	(横浜国立大学)	大越 康晴	(東京電機大学)
須原 理彦	(首都大学東京)	千葉 勇	(三菱電機)
小山 二三夫	(東京工業大学)	今井 秀樹	(中央大学)
大崎 博之	(東京大学)	花輪 誠	(日立)
荒井 滋久	(東京工業大学)	橋本 秀紀	(中央大学)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	須原 理彦 (首都大学東京)	藤代 博記 (東京理科大学)	和田 圭二 (首都大学東京)
Fellow Nominations	小山 二三夫 (東京工業大学)	萩本 和男 (NTT)	宮本 智之 (東京工業大学)
Membership Development	大崎 博之 (東京大学)	平澤 隆行 (ビスキヤス)	小野 靖 (東京大学)
Nominations	荒井 滋久 (東京工業大学)	馬場 俊彦 (横浜国立大学)	西山 伸彦 (東京工業大学)
Technical Program	高村 誠之 (NTT)	庄木 裕樹 (東芝)	坂東 幸浩 (NTT)
Publications	雁部 洋久 (富士通研究所)	有本 由弘 (富士通研究所)	山下 真司 (富士通研究所)
Student Activities	伊丹 誠 (東京理科大学)	羽渕 裕真 (茨城大学)	大野 光平 (東京理科大学)

2011年東京支部活動報告

1. 支部総会

2011年3月11日(金)、午後2時30分からゆうぼうと7階福寿において開催された。参加者37名

- ・ 2011年-2012年役員・理事選出
- ・ 2010年活動報告
- ・ 2010年決算報告
- ・ 2011年活動計画
- ・ 2011年予算

総会の途中で東日本大震災が発生したが、スケジュールを適時調整して引き続き、第一回東京支部主催講演会、2011年新Fellow表彰式および新Fellowを囲む懇親会が開催された。

2. 支部理事会

第1回 3月11日(金) ゆうぼうと7階 葵

出席者 13名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2010年会計報告および監査報告
- ・ 2011年東京支部活動計画(審議)
- ・ 2011年予算
- ・ 2011年総会資料(審議)
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動計画・活動報告
- ・ Japan Council 理事会(2010年第3回)報告
- ・ 協賛依頼
- ・ その他
 - Region 10 Meeting 報告
 - IEEE Technical Tour of Japan について

第2回 6月16日(木) 汐留シティセンター

出席者 16名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ 会計進捗状況
- ・ 協賛依頼
- ・ その他
 - 支部提案 IEEE Milestone 進捗状況
 - IEEE Technical Tour of Japan 進捗状況
 - IEEE Technical Tour of UK 参加報告
 - IEEE President-Elect Dr. Gordon W. Day の来日について

(総会—第1号議案 資料)

- 被災者の IEEE 会費免除/支払猶予について

第3回 9月29日(木) 汐留シティセンター

出席者 16名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2011年8月末会計報告
- ・ 2011年第2回 Japan Council 理事会報告
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ 協賛
- ・ その他
 - 支部提案 IEEE Milestone 進捗状況
 - IEEE Technical Tour of Japan 進捗状況
 - IEEE-JC LRSC 報告
 - Sections Congress 2011 の状況報告
 - 事務局移転について

第4回 11月24日(木) 汐留シティセンター

出席者 15名

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2011年活動報告および2012年活動計画案(審議)
- ・ 2011年決算予想および2012年予算案(審議)
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ 協賛
- ・ その他
 - 支部提案 IEEE Milestone 進捗状況
 - IEEE Technical Tour of Japan 進捗状況
 - IEEE-JC LRSC 報告
 - IEEE-JC LRSC 報告
 - Region10Meet2013、EXCOM Meet 2013 招致活動

3. 支部主催講演会

(1) 3月11日(金) ゆうぽうと7階 福寿

参加者 39名

『初代プリウスの技術と開発風土、そして次世代自動車の展望』

佐々木 正一 氏 (慶応大学 教授、2010年 IEEE Daniel E. Noble Award 受賞、

2011年 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞)

(2) 5月31日(火) IVY HALL 3階 アロン (LMAG 共催)

参加者 44名

1. 『グローバルマネージドデータネットワークサービスの最新状況 - 日本と欧州サービス

(総会—第1号議案 資料)

プロバイダを参照して、NTT コミュニケーションズとオレンジ ビジネス サービス』

富田 修二 氏 (itSMF JAPAN)

2. ミニパネル (拡大 Q&A)

司会 : 葉原 耕平 氏 (LMAG Chair)

パネリスト : 富田 修二 氏 (itSMF JAPAN)

持田 侑宏 氏 (フランステレコム株式会社)

(3) 10月31日 (月) 東京国際フォーラム G502 (ガラス棟5階) 参加者 56名

『アンビエント・エレクトロニクスと極低電力回路』

桜井 貴康 氏 (東京大学 教授、2010年 IEEE Donald O. Pederson 賞受賞)

(4) 11月18日 (金) NHK 放送技術研究所 講堂 参加者 138名

IEEE Milestone 記念講演会

1. 『衛星放送の技術開発 ~黎明期から実用放送衛星の打ち上げまで~』

木村 悦郎 氏 (元 NHK 放送技術研究所 所長)

2. 『衛星放送から未来へ』

吉野 武彦 氏 (元 NHK 専務理事・技師長)

(5) 12月2日 (金) 東京国際フォーラム G510 (ガラス棟5階) (LMAG 共催) 参加者 89名

『東日本大震災から見たネットワーク』

萩本 和男 氏 (NTT 先端技術総合研究所 所長)

4. その他の会合等

(1) 2011年 Life Members Affinity Group 総会 3月11日 (金) ゆうぼうと7階 福寿

参加者 : 17名

(2) 新 Fellow 表彰式 3月11日 (金) ゆうぼうと7階 福寿

新 Fellow 昇格者数 : 11名 (東京支部)

参加者 40名

(3) 「新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー」 3月11日 (金) ゆうぼうと6階 花梨

参加者 : Award 受賞者、2011年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 38名

(4) 2011年 Region10 Meeting 3月5日 (土) ~3月6日 (日) Yogyakarta, Indonesia

参加者 (敬称略) : 本部関係者、Region10 関係者、Council / Section 代表 他 計 115名

東京支部 : 6名 (Park、岩井、橋本、南、雁部、有本)

その他の支部 : 12名 (大宮、畑岡、岩橋、福田、岩田、松井、片桐、村瀬、尾上、堀田、佐々木、末次)

(総会—第 1 号議案 資料)

(5) Sections Congress 2011 8月19日(金)～8月22日(月) San Francisco USA
日本からの参加者は20名(敬称略): (赤崎、佐々木、百武、岩井、小菅、Park、福田、南、尾上、橋本、大野、大宮、古閑、青山、片桐、舟阪、都築、笹尾、今井、矢野)
期間中に Region 10 Meeting も開催

(6) IEEE Milestone 贈呈式 11月18日(金) NHK 放送技術研究所 講堂
参加者: IEEE 関係者/招待者、NHK 関係者/招待者 他 計 64 名

5. 常設委員会の活動

・ Fellow Nomination Committee

2012年3月1日の Fellow Nomination 締め切りに向け、「より多くのノミネーションを得る」ため、昨年と同様にノミネーション依頼状を11月下旬に再送付した。

IEEE 東京 FNC の Web ページにおいて郵送による申請の該当部分を削除し、電子申請に対応させた。

・ Technical Program Committee

上記3項に示す講演会(5回)を企画実行した。

・ Membership Development Committee

Senior member 数を増やすため、Fellow 候補推薦依頼のメールに、Senior member への昇格申請を関係者に奨励していただく依頼を加えた案内を東京支部事務局より発信した。Publications Committee と連携して、ホームページの Senior member 昇格申請を更新した。

・ Publications Committee

IEEE 入会手続きの更新ほか東京支部ホームページの内容を拡充した。会員へのタイムリーな情報配信サービスとして「Tokyo Bulletin」を6回発行し、東京支部の全会員に配信するとともにホームページに掲載した。

・ Student Activities Committee

- (1) Keio University Ph.D. Student Paper Contest(3/4)
- (2) 第5回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ(6/25)
- (3) 東工大 SB 2011 Student Paper Contest(7/29/10-31)
- (4) 「はじめての国際学会」のためのプレゼン講座(10/8)
- (5) R10 Student Congress 2011@ニュージーランドへの参加(7/7-10)
- (6) 第6回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ(10/29)
- (7) Student Branch Leadership Training Workshop@熊本大学への参加(11/12)
- (8) The 8th IEEE Tokyo Young Researchers Workshop(11/30)

6. Affinity Groupの活動

・ Tokyo GOLD

- (1) Tokyo GOLD 2011 New Year Banquet (2/5)
- (2) 第 1 回企業見学会／The 1st STEP EVENT (2/9)
- (3) 第 6 回 Tokyo GOLD 役員会 (2/16)
- (4) 第 7 回 Tokyo GOLD 役員会 (4/11)
- (5) 第 5 回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ (6/25)
- (6) IEEE Region 10 Student/GOLD/WIE Congress 2011 への参加および Presentation (7/7-10)
※Tokyo GOLD より 3 名出席
- (7) IEEE GOLD Summit (8/17-18) への参加 ※Tokyo GOLD より 1 名出席(R10 からの支援)
- (8) Section Congress2011 での Poster Presentation (8/19-22)
- (9) 第 2 回富士山登山ツアー(8/8-9)
- (10) IEEE802 Wireless Interim Meeting 見学会(9/18-23)
- (11) 「はじめての国際学会」のためのプレゼン講座 2011(10/8)
- (12) 第 3 回 IEEE キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト(9/28-10/20)
- (13) 第 6 回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ(10/29)

・ LMAG

- (1) 2011 年東京支部 LMAG 総会開催 (3/11)
- (2) LMAG Newsletter No.2 発行(5/11)
- (3) 第 1 回 LMAG・東京支部共催講演会開催(5/31)
- (4) LMAG Newsletter No.3 発行(7/25)
- (5) 第 2 回 LMAG・東京支部共催講演会開催(12/2)

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	239	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	99	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	19	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	153	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.31	2	335	497	5,800	416	713

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Student

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	513	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	319	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	154	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	400	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	257	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	173	1.33	4	505	754	9,749	757	1,364
2008	13,346	213	1.62	4	513	761	9,804	723	1,541
2009	13,674	328	2.46	4	515	761	10,054	696	1,644
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2011	13,872	102	0.74	4	521	826	10,128	712	1,681

IEEE東京支部2011年決算報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	会計報告 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	13,284,180	13,671,156	103	
・支部リベート	2,364,180	2,325,998	98	\$30,673.85@¥75.83 (2011年10月18日)
・Section Assessment	10,920,000	11,345,158	104	前期：\$134,935.49@¥80.87 (2011年3月15日) 手数料1,500円 後期：\$5,743.24@¥75.38 (2011年10月24日) 手数料1,500円
◆雑収入	40,000	5,377	13	受取利息
◆その他	-	341,092	-	監査費用, LMG活動費
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
収入合計	13,324,180	14,017,625	105	
支出の部				
◆Councilへの拠出金	10,920,000	11,342,158	104	手数料合計3,000円
◆会合費	1,600,000	1,294,733	81	
・総会費	700,000	747,485	107	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	500,000	475,698	95	
・理事会費	100,000	7,430	7	資料送付等
・その他会合費	300,000	64,120	21	
◆Committee活動費	100,000	122,750	123	
◆TOKYO GOLD支援費	200,000	1,111,575	556	ワークショップ支援費, R10Student Congress旅費, IEEE802参加費等
◆Student Branch支援費	1,000,000	1,790,886	179	ワークショップ支援費, R10Student Congress旅費等, SBLW旅費
◆事務局設備費	300,000	411,994	137	カメラ買換え, PC買換え, 書庫購入
◆ITサービス運用費	1,000,000	928,620	93	ハウジング費用/常駐保守
◆通信費	40,000	10,656	27	Internet通信費等
◆支払手数料等	350,000	279,166	80	銀行手数料, 貸金庫手数料等
◆予備費	500,000	354,595	71	Section Congress参加費等
支出合計	16,010,000	17,647,133	110	
収支	-2,685,820	-3,629,508		
◆前年度繰越金	7,710,391	7,710,391	100	
◆次期繰越金	5,024,571	4,080,883	81	

財産目録

科 目	2011年12月31日	2010年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	4,080,883	7,710,391
○定期預金	16,698,001	16,698,001
◇現金・預金合計	20,798,884	24,428,392
◇その他流動資産		
流動資産合計 :	20,798,884	24,428,392
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品		3,853,815
◇減価償却累計額		(3,853,815)
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	20,944,484	24,573,992
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計 :		
3. 正味財産	20,944,484	24,573,992
負債および正味財産合計 :	20,944,484	24,573,992
Statement of Activities		
I. 収益の部		
◇支部レポート	2,325,998	2,677,915
◇Section Assessment	11,345,158	12,858,331
◇その他(Milestone銘板代立替分/監査費立替分)	341,092	455,171
◇受取利息	5,377	12,279
◇Section Congress支援費		
◇雑収入		
収益合計 :	14,017,625	16,003,696
II. 費用の部		
◇会合費	1,294,733	1,451,202
◇Student Branch支援費	1,790,886	1,161,859
◇GOLD支援費	1,111,575	288,612
◇Committee費	122,750	180,376
◇Japan Councilへの拠出金	11,342,158	12,858,331
◇事務局費および一般管理費	1,630,436	1,464,549
◇予備費	354,595	494,760
◇Milestone Plaque費用		
◇減価償却費		
費用合計 :	17,647,133	17,899,689
正味財産増減額	(3,629,508)	(1,895,993)
期首正味財産	22,532,399	24,428,392
期末正味財産	18,902,891	22,532,399
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
◇支部レポート	2,325,998	2,677,915
◇Section Assessment	11,345,158	12,858,331
◇予備費(Milestone/Section Congress)	341,092	455,171
◇受取利息	5,377	12,279
◇雑収入		
収入合計 :	14,017,625	16,003,696
II. 支出の部		
◇会合費	1,294,733	1,451,202
◇Student Branch支援費	1,790,886	1,161,859
◇GOLD支援費	1,111,575	288,612
◇Committee活動費	122,750	180,376
◇Japan Councilへの拠出金	11,342,158	12,858,331
◇事務局費および一般管理費	1,630,436	1,464,549
◇予備費(Milestone/Section Congress)	354,595	494,760
◇固定資産等購入		
支出合計 :	17,647,133	17,899,689
現金・預金増減額	(3,629,508)	(1,895,993)
期首現金・預金残高	24,428,392	26,321,385
期末現金・預金残高	20,798,884	24,428,392

IEEE Japan Council 2011年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1~12/31)	決 算 (1/1~12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	792,480	781,807	99	
・ Chapter Rebate	792,480	781,807	99	US\$10,310.00@¥75.83
◆各支部よりの拠出金	18,720,000	19,521,383	104	US\$242,105.71 平均@¥79.60
・札幌支部		285,559		前期分US\$3,589.14 @79.98 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・仙台支部		926,914		前期分：US\$11,011.10 @84.18 (後期分：次年度の前期に請求。)
・信越支部		336,997		前期分：US\$4,229.10 @¥80.04 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・東京支部		10,910,733		前期分：US\$134,935.49 @80.87 (手数料1500) 後期分：US\$5,743.24 @75.38 (手数料1500)
・名古屋支部		1,596,914		前期分：US\$19,848.68 @80.53 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・関西支部		2,949,435		前期分：US\$36,489.87 @¥80.87 (手数料1500) 後期分：US\$1,7146.35 @75.38 (手数料1500)
・広島支部		639,302		前期分：US\$8,010.03 @¥80.00 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・四国支部		293,461		前期分：US\$3,756.03 @¥78.53 (手数料1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・福岡支部		1,065,732		前期分：US\$13,346.68 @¥79.85 (後期分：次年度の前期に請求。)
◆その他	-	189,000	-	本部より監査費用受領
	-	977,280	-	敷金返却
◆雑収入	8,000	3,637	45	受取利息等
合 計	19,520,480	21,473,107	110	
支出の部				
◆事務局費	13,360,000	13,441,696	101	
・給料諸給	9,000,000	9,296,915	103	交通費/労働保険/所得税を含む
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	2,100,000	2,080,428	99	
・事務所設備費用	400,000	446,422	112	IT環境整備費など(PC新規購入、引っ越しの際の備品購入)
・通信費	200,000	247,494	124	電話回線使用料、切手など(携帯電話1台追加)
・交通費	10,000	61,584	616	打ち合わせ
・事務用品費	150,000	148,553	99	
・事務機器レンタル費	1,000,000	812,137	81	コピー機・ファックス機/コピー機使用料等
・支払手数料等	500,000	348,163	70	銀行手数料/会計監査費用立替など
◆会合費	2,100,000	2,959,694	141	
・理事会・各委員会費	2,000,000	2,959,694	148	参加旅費を含む、信越支部との交流費
・その他会合費	100,000	-	-	
◆Section支援費	1,800,000	2,604,613	145	仙台、信越、広島、四国、名古屋、関西各支部
◆Chapter支援費	6,792,480	7,418,167	109	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	1,500,000	2,299,423	153	SBLW(香川大学開催、参加旅費など)
◆WIE支援費	400,000	307,604	77	6件分
◆予備費	500,000	3,111,640	622	敷金支払、引っ越し費用など
合 計	26,452,480	32,142,837	122	
収支	-6,932,000	-10,669,730	-	
◆前年度繰越金	15,701,228	15,701,228	100	
◆次年度繰越金	8,769,228	5,031,498	57	

2012年 活動計画

1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としてのIEEE活動の活性化に積極的に協力する。東京支部のSecretaryおよびTreasurerはJapan Councilの同役職を兼務しており、それぞれの役割においてCouncilの活動支援を推進する。

2. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002年10月に調印を行ったボストン支部、2006年6月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008年から実施している学生英語論文コンテストの共催に引き続き、交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本のIEEEの学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

3. 委員会活動

3-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学の9校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学(2010年10月設立)があり(全国合計23校)、それぞれ学生を中心としてIEEE活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

3-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、Membership Development Committeeの活動を活性化させ、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増強を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Memberの増強に向けた施策を検討する。さらに、ホームページの拡充や支部独自の表彰制度の新設について検討を行う。

3-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2011 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成のための情報などを支部ホームページに掲載することによるミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

3-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画するとともに LMAG との共催を推進し、開催回数を増やす。

3-5. 会員への情報提供

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

3-6. 若手会員および Life 会員向け活動の活性化

2008 年 11 月に設立された Tokyo GOLD Affinity Group を中心に、学部卒業後 10 年間の GOLD (Graduate of Last Decade) 会員向けの活動を活性化させる。

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に、Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また、GOLD と LMAG の交流を推進する。

4. 本部および Region 10 との連携強化

本部役員の訪日があれば、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

Region 10 行事の東京地区開催招致を検討する。

本部および Region 10 Award 等への東京支部からの推薦を活性化するための施策を検討する。

以上

IEEE東京支部2012年予算

単位：日本円

	2012年予算案 (1/1～12/31)	備考
収入の部		
◆IEEE本部勘定	12,453,800	US\$1=¥78を適用(2011年11月8日現在) 予算は-5円の73円で計算
・支部リベート	2,233,800	US\$30,600 (Gross) を想定
・Section Assessment	10,220,000	US\$140,000 (Gross) を想定
◆雑収入	20,000	受取利息等
収入合計	12,473,800	
支出の部		
◆Councilへの拠出金	10,220,000	Section Assessment全額
◆会合費	1,280,000	
・総会費	560,000	資料印刷代/証書額/懇親会費を含む
・講演会費	400,000	会場費等
・理事会費	80,000	
・その他会合費	240,000	
◆Committee活動費	80,000	HP制作費など
◆Tokyo GOLD活動費	160,000	
◆Student Branch支援費	800,000	ワークショップ、SBLW支援費
◆事務局設備費	240,000	ファシリティの新規購入、ソフト更新費用など
◆ITサービス運用費	1,000,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	40,000	Internet通信費/宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	350,000	前年度監査費用/銀行手数料等
◆予備費	400,000	
支出合計	14,570,000	
収支	-2,096,200	
◆前年度繰越金	4,080,883	
◆次期繰越金	1,984,683	

2012年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	浅田 雅洋 Masahiro Asada	東京工業大学	<i>for contributions to semiconductor laser theory and terahertz devices</i>
2	東京	藤江 正克 Masakatsu George Fujie	早稲田大学	<i>for contributions to medical robotics</i>
3	東京	日高 邦彦 Kunihiko Hidaka	東京大学	<i>for contributions to measurement and electrical insulation technologies in high voltage engineering</i>
4	東京	広川 二郎 Jiro Hirokawa	東京工業大学	<i>for contributions to high-gain and high-efficiency millimeter-wave planar waveguide slot arrays</i>
5	東京	伊藤 隆司 Takashi Ito	東京工業大学	<i>for development of direct nitridation technology of MOS gate insulators</i>
6	東京	河野 隆二 Ryuji Kohno	横浜国立大学	<i>for contributions to spread spectrum and ultra wideband technologies and applications.</i>
7	東京	松島 裕一 Yuichi Matsushima	早稲田大学	<i>for contributions to semiconductor optical devices for transoceanic optical undersea cable systems</i>
8	東京	水本 哲弥 Tetsuya Mizumoto	東京工業大学	<i>for contributions to waveguide optical nonreciprocal devices for optical communications</i>
9	東京	最上 徹 Tohru Mogami	日本電気(株)	<i>for contribution to surface-channel pMOSFET and nanoscale transistor technology</i>
10	東京	小田 俊理 Shunri Oda	東京工業大学	<i>for contributions to silicon quantum dot devices</i>
11	東京	作井 康司 Koji Sakui	マイクロン・ジャパン(株)	<i>for the contribution to NAND flash memories</i>
12	東京	田井 一郎 Ichiro Tai	(株)東芝	<i>for leadership in development of nuclear instrumentation and control systems</i>
13	東京	山内 潤治 Junji Yamauchi	法政大学	<i>for contributions to electromagnetic waveguides and design of surface wave antennas</i>

2012年他支部新Fellow Citation

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	温 暁青 Xiaoqing Wen	九州工業大学	<i>for contributions to testing of integrated circuits</i>
2	関西	西尾 章治郎 Shojiro Nishio	大阪大学	<i>for contributions to data and knowledge management in database systems</i>
3	関西	奥乃 博 Hiroschi Okuno	京都大学	<i>for contributions to robot audition technology</i>
4	仙台	澤谷 邦男 Kunio Sawaya	東北大学	<i>for contributions to computational electromagnetics and characterization of antennas in plasmas</i>

2012年 IEEE Medal/Award 日本人受賞者

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	吉野 彰 (旭化成)	<i>For developing the lithium-ion battery, which enables significant fuel conservation and reduced emissions as power storage for electric vehicles and for smart grids incorporating renewables.</i>
2	IEEE Honorary Membership	内海 善雄 (財団法人海外通信・放送 コンサルティング協力、 トヨタIT開発センター)	<i>For leadership in policy and initiatives leading to the growth of information and communication technologies.</i>
3	IEEE Reynold B. Johnson Information Storage Systems Award	高橋 直也 (日立電子サービス)	<i>For leadership in the development of innovative storage systems for heterogeneous open and mainframe servers, business continuity solutions and virtualization of heterogeneous storage systems.</i>
4	IEEE David Sarnoff Award	大野 英男 (東北大学)	<i>For seminal contributions and leadership in bridging semiconductor electronics with magnetism and spintronics.</i>
5	IEEE Corporate Innovation Recognition	三洋電機	<i>For developing and commercializing high-performance heterojunction solar cell technology (HIT).</i>
6	IEEE Ernst Weber Engineering Leadership Recognition	飯塚 哲哉 (ザインエレクトロニクス)	<i>For pioneering de facto standard video chips for moving images and nurturing entrepreneurship in Japan.</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Promotion
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 15 December 2006.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org